



# ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

〒044-0121 北海道虻田郡京極町字三崎68番地

TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031

Eメールアドレス

kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

地域住民の憩いの場づくりとして、男性の会と社協が協働で推進している「ベンチプロジェクト」の取り組みをご紹介します。材料の買出しから、作製まですべて男性の会が担っています。ベンチは現在、京極町役場正門前・子育て支援センター前・四区集会所玄関前・慶和園正面玄関横・地域福祉拠点きょう・ここ前（このベンチは森林組合のベンチを男性の会が購入し、組み立て、アレンジしたものです。）の5カ所に設置されています。

ベンチの愛称は「おっちゃんこ」。(おっちゃん×座る)

今後も他の場所に随時設置していく予定です。地域の方々から「座る場所ができてよかった」との声が挙がっています。多くの地域の方々「おっちゃんこ」に座って一休みしてくれると嬉しいです。(男性の会より)

※ベンチ作製費は、公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金」からの助成金、地域住民からのご寄付により作製しています。





社会福祉法人京極町社会福祉協議会

# 令和3年度基本方針

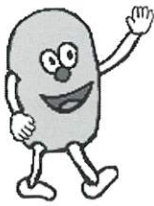
令和元年度末から日本だけでなく世界中に多大な影響を与えた新型コロナウイルスは今も住民生活に影響し続けています。集会や会食の制限など、私たちの生活を豊かにしていた、人に会い、語り、つながりを確認し合う活動も大きな影響を受けてしまいました。そのような状況の中ではありますが、サロン利用者相互の応援メッセージボード、ウォークラリーや、オンラインクリスマス会の開催など、何とかこれまでの活動やつなごりを継続する工夫がなされてきました。孤立せず、適度に負担なく声をかけあえる、気にし合える、笑い合えるつながりの大切さを再認識する一年でした。

昨年度は数件、安否確認できずに関係機関や家族が苦慮するケースがありました。昨年度から検討を重ねている見守る側、見守られる方が相互に安心できる「新しい見守り」を事業化することが大きな目標となります。

これまでは通所型の事業について「介護予防」と「介護」をそれぞれ独立した形でサービスを提供して来ましたが、今年度からは、より利用者様に対して連続性のある支援提供が出来るよう一体的なサービス提供を検討していきます。

人口動態や要介護認定率などをみながら、行政と共に適正な事業規模の見直しも進めていきます。利用者様やそのご家族の不安にならないよう丁寧な説明を行っていくとともに、サービスの向上を実感できる取り組みを職員一丸となつて提供していくことが求められます。

今年度は、地域福祉計画・地域福祉実践計画策定の年ともなっていますので、行政・住民の皆様と共に安心・安全に暮らしていける京極町のあり方・取り組みを考えていきたいと思っております。



## 令和3年度事業計画(総務課担当)

- 京極町愛情資金貸付事業・生活福祉資金貸付事業(内容:高齢者世帯や障がい者世帯、低所得世帯に必要な資金の貸付と相談支援)
- 移送サービス(内容:透析患者の送迎、高齢・障がい者世帯等への町内の通院支援)
- 配食サービス(内容:高齢・障がい者世帯等への夕食の宅配)
- 除雪サービス(内容:70歳以上の高齢・障がい者世帯の除雪支援)
- 電話サービス(内容:週1回程度、電話による安否確認も含めた相談支援)
- 高齢者等緊急通報システム事業(内容:高齢・障がい者世帯等に緊急通報装置を設置し体調急変などの緊急時に対応する)
- 高齢者等かぎ預かり事業(内容:高齢・障がい者世帯等の自宅のかぎを預かり、日常の見守りと緊急時に対応する)
- ボランティアセンター事業(内容:ボランティアに関する相談と調整、ボランティア保険受付、ボランティア講座の開催)
- ふまねっと・ニュースポーツサロン(日時:毎週木曜13:30~14:30場所:商工会館)
- 福祉用具・行事用備品の貸出し(内容:個人や団体へ車いすや行事用テントなどの貸し出し)
- ほかほかまつり(開催時期:10月を予定) 上記事業の詳しい利用条件や料金については、福祉センターまでご相談・お問合せ下さい。



## 令和3年度収支予算

### 【支出の部】

科 目	予算額 (円)
人件費	128,270,000
事業費	9,676,000
事務費	31,517,000
貸付事業支出	800,000
共同募金配分金事業費	2,325,000
助成金支出	60,000
負担金支出	234,000
ファイナンスリース債務の返済支出	672,000
積立資産支出	9,042,000
予備費	50,000
支出合計	182,646,000

### 【収入の部】

科 目	予算額 (円)
会費収入	1,300,000
寄付金収入	1,000,000
補助金収入	43,595,000
受託金収入	92,168,000
事業収入	1,038,000
貸付事業等収入	700,000
介護保険収入	38,621,000
受取利息配当金収入	10,000
積立預金取崩収入	4,214,000
収入合計	182,646,000



# 令和2年度 決算報告

## 【貸借対照表】

(令和3年3月31日現在) (単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
<b>流動資産</b>	11,473,330	<b>流動負債</b>	12,405,166
現金	23,594	未払金	5,565,107
預貯金	1,676,207	1年以内返済予定	1,335,130
未収金	8,582,337	預り金	1,274,988
立替金	192,443	仮受金	4,229,941
前払金	998,749		
仮払金	0		
<b>固定資産</b>	91,965,191	<b>固定負債</b>	44,776,223
基本財産	1,591,613	リース債務	3,179,581
定期預金	1,591,613	退職給与引当金	41,596,642
その他の固定資産	90,373,578		
土地	6,502,525		
建物	580,685		
機械及び装置	2		
車輛運搬具	3,545,902		
器具及び備品	2,771,060		
無形リース資産	1,342,656		
退職給付引当資産	41,994,189		
その他の積立金	33,636,559		
福祉基金	8,167,471		
愛情資金積立金	6,531,139		
奨学基金積立金	10,358,646		
未来へつなく夢基金	7,369,303		
愛情資金貸付金	1,210,000		
<b>資産の部合計</b>	<b>103,438,521</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>103,438,521</b>

## 【資金収支決算】

(単位:円)

収入の部	決算額
会費収入	1,094,500
寄付金収入	4,783,500
補助金収入	44,798,986
受託金収入	89,660,898
貸付事業等収入	466,000
事業収入	1,616,635
介護保険収入	37,852,047
受取利息配当金収入	1,239
積立資産取崩収入	10,586,400
その他の活動による収入	38,397
施設整備等補助金収入	258,825
施設整備等寄付金収入	3,500,000
前期末支払資金残高	1,099,720
<b>収入合計①</b>	<b>195,757,147</b>
支出の部	決算額
人件費支出	131,211,499
事業費支出	9,001,670
事務費支出	33,769,795
共同募金配分金事業費	2,114,301
助成金支出	30,000
負担金支出	252,000
貸付事業等支出	330,000
固定資産取得支出	4,397,674
ファイナンス・リース債務の返済支出	671,328
積立預金積立支出	13,557,429
支払利息	18,157
<b>支出合計②</b>	<b>195,353,853</b>
<b>繰越金① - ②</b>	<b>403,294</b>

# 令和2年度賛助・一般会員報告【期間:令和2年4月~令和3年3月】

- ◎一般会費【町内世帯】 計1,103戸
- ◎賛助会員【個人】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申しあげます。ボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス事業などへ活用します。(敬称略)

西方 清徳	安藤 博	佐藤 恭子	辻 征二	久保 英雄	柳原 保	中村美智子
堅田 光良	阿部 鋭右	富成 邦彦	山中 艶子	長壁千代子	篠原 政彦	佐藤 絹子
有末 義美	竹浪クニ子	茅田 英利	長谷川 敦	末吉 光恵	鳩沢 秀子	立川 勝雄
片田 幸夫	大清水昭子	笹原 満雄	横川 広	四宮 幸一	古館 祐子	多田 英男
船場 実	山崎 一雄	堅田美英子	菊地 憲一	桜 貢	藤沢 玲子	桜 トシ子
柴山 悟	中村 恒男	大木 勝彦	池元 豊	佐藤 明	大場美智子	※他匿名者多数

## ◎賛助会員【法人・団体】

(敬称略)

宗教法人 龍門寺	ようてい森林組合	京極建設 株式会社	北海道信用金庫京極支店	街ミートショップあんぼ
宗教法人 光寿寺	JAようてい京極支所	川崎建設 株式会社	株式会社 羊蹄清掃社	京極町議会議員会
宗教法人 広徳寺	株式会社 道南富士コン	有限会社 藤沢デンキ	(株)パイオニアフーズ	計34件
菊地建設鋳業 株式会社	株式会社 中村組	有限会社 ヤマトモリ	京極町羊峰会	
宗教法人 瑞法寺	株式会社 桜組	株式会社 鈴木商事	有限会社 古屋建設	
株式会社 高瀬製作所	樋口電気工業 株式会社	有限会社 京極石油	養護老人ホーム 慶和園	
ローソン京極店	京極町商工会	久保碎石工業 株式会社	ユニットケア 慶和園	
株式会社 富成商店	有限会社 赤木農産	株式会社 京極産業	宗教法人 北神分教会	

**京極町社協の活動を応援してください ~賛助会員の募集~**

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。みなさまから頂いた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしく申し上げます。

**会費 一口…1,000円**

問い合わせ先 ☎0136-42-3681  
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波



## 会長就任のご挨拶

清水 耕 策



この度の役員改選により、京極町社会福祉協議会会長に就任しました清水です。よろしくお願い申し上げます。

昨年に始まったコロナ禍はなかなか終わりそうもありません。このように長期化し、非常事態宣言が出るようであればもはや災害というべきでしょう。地域の幸せを推し進める社協としても厄介な災害です。人々が仲良く暮らすためには人は群がる必要がありますが、ソーシャルディスタンスで制限されています。WebサービスのZoom会議は一見便利ですが、感情が伝わらないコミュニケーションになっています。このような状況の中、みんなが仲良く気持ちの通じ合う暮らしやすい地域を目指すのが社協であると考えます。

これまでに歴代の会長さんが築いてきた京極町社協を護りながら、新たな課題に取り組みます。そのために役員をはじめ職員が一丸になって努力致しますので、関係機関の皆様、町民の皆様の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

## 京極町社会福祉協議会 新体制

令和3年6月16日の理事会により新体制が決定いたしました。柳原保会長が6月16日をもって退任され、新たに清水耕策会長が就任いたしました。

### 理事・監事【任期:令和3年6月16日～令和5年度定時評議員会終結の時まで】

会 長	清水 耕策	理 事	澁谷 剛	理 事	辻 隆
副会長	古屋 清子	理 事	赤間真知子	理事(常務理事)	駒田 拓朗
副会長	深澤 正之	理 事	菊地 亮	監 事	冨田 英利
				監 事	山岡 龍二

### 評議員【任期:令和3年6月16日～令和7年度定時評議員会終結の時まで】

櫻 良子	吉川 英昭	岡部美智子
後藤田 紘	森 賢	多田 英男
鳥谷部寿美恵	佐々木博史	山内志津子

～ご退任～

これまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

柳原 保氏 平成14年 評議員就任、平成18年 理事就任  
平成26年 会長就任、令和3年 会長退任

6月16日の社協評議員会で理事退任の意を認めてもらいました。平成18年に理事になり15年になりました。この間副会長6年、会長7年間させていただきました。長い間皆様のご協力ご支援を賜り厚く感謝とお礼を申し上げます。

福祉に門外漢だった私は案山子みたいで動かず、しゃべらずそんな存在だったかもしれません。しかし案山子には案山子の役目があり畑を守り農家さんに安心感を与えます。皆さんから見たらむしろ「漬物の石」に見えたと思います。

地域福祉拠点の「kyo-coco」設立で家を探したこと、研修によく行ったこと、社協が全国、全道表彰を受けたこと、若い職員と語り合ったことなどが思い出となりました。

後任には福祉の専門家でもあり、今の京極社協を築いた元事務局長の清水耕策氏がなりましたので安心して退任します。今後益々の社協充実と住みよい京極町なることを祈念申し上げます退任の挨拶とさせていただきます。大変有難うございました。

柳原 保

永田 守明氏 平成24年 評議員就任、令和3年 評議員退任



# 地域福祉事業報告

## 地域福祉課(生活支援体制整備事業・地域力強化推進事業)令和2年度事業報告

令和2年度は、コロナウイルス蔓延に伴い、思うように地域住民の皆様との意見交換ができない1年でした。しかし限られた環境下で地域住民の皆様を意識や現状に触れる機会があったことは今後につながる好材料でした。下半期では、感染対策を講じたうえで徐々に地域へ出ていくことも可能になり生活支援ニーズの個別のマッチングや福祉委員はじめ諸団体との意見交換など次年度の活動へつながる有意義な関わりが継続できたと感じています。

### 【地域力強化推進事業】

- ・地域住民同士のネットワークや相互の助け合いを強化するため
- ・福祉委員の活動推進…訪問等による福祉委員の活動状況把握・福祉委員との関係構築
- ・福祉委員活動広報活動…福祉委員だよりの発行・広報ふれあいへの掲載

### 【生活支援体制整備事業】※生活支援コーディネーターの役割に基づいて記載しています。

#### (1) 地域資源・ニーズ把握

- ・町内会長ヒアリング(町内会状況の聞き取り)…9町内会
- ・京極町の諸団体へ活動状況把握のための訪問…京極中学校(ボランティア委員会)
- ・京極女性の会・駅前町内会ゴールド会等
- ・地域ケア会議への出席
- ・民生委員との協働による支え合いマップの作成
- ・京極女性の会向けに「暮らしのアンケート」を実施し生活支援ニーズを把握

#### (2) 関係者とのネットワーク化

- ・協議体(支え合い本部)の開催…5回開催

#### (3) 生活支援の担い手育成

- ・ボランティア講座での講師
- ・京極小4年生向けのバリアフリー授業への協力



#### (4) 資源開発

- ・男性の会…昨年度企画化された「ベンチプロジェクト」の、中心的団体として活動中
- ・ふまねっとサロン参加者のつながりづくり…コロナ禍でもつながりを維持できるように、活動場所である商工会館にて掲示板を設置し、お互い励まし合うメッセージカードを共有

#### (5) ニーズと資源のマッチング

- ・趣味団体活動支援…コロナ禍により活動中止していた諸団体の活動支援としてオンラインを利用した活動発表の場づくりを行っている
- ・女性の会向け「スマホ相談会」…上記「暮らしのアンケート」でニーズとして多かったスマホに関する困りごとを解決するための試みとして開催(講師は京極中の学生)



福祉委員だより作成の様子



スマホ相談会

## 令和3年度事業計画

地域住民の皆様と更なる意見交換を重ね、「支え合いの地域づくり」に向け生活支援体制整備事業・地域力強化推進事業共に取り組んで参りたいと思います。

生活支援体制整備事業では、地域住民との話し合いの場づくりを重点的取り組みとし、町内会やNPO法人、諸団体との意見交換を重ねていきたいと思っています。

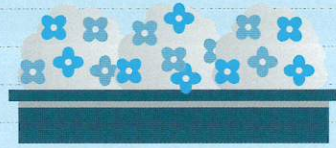
地域力強化推進事業では、昨年度に引き続き地域住民の皆様との福祉のネットワークを構築するうえで欠かせない存在である福祉委員の活動を推進するために意見交換する場や訪問活動を重ねていきたいと思っています。また、多世代の協働を推進するために「子ども福祉委員(案)」の組織化にも取り組んでいきたいと考えております。今年度も地域住民の皆様には様々な事を学ばせていただきながら、地域福祉を推進してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 京極町生活サポートセンター

## ◎令和2年度主な活動

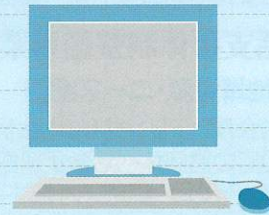
- ①成年後見人等受任状況…後見4件 保佐3件
- ②日常生活自立支援事業の実施状況…1件
- ③相談受付状況…15件(高齢4件、障害5件、触法0件、その他6件)  
 終結案件:12件(相談内容解決実数)
- ④市民後見人支援状況…2名の市民後見人を支援(3件受任)  
 ※京極町社協と市民後見人が複数受任し、訪問、金銭管理、身上保護の基本的な業務を協力して実施しています。
- ⑤市民後見人フォローアップ研修会  
 日にち:令和3年2月25日 内 容:①「ご存知ですか?法テラス」講師 法テラス  
 日にち:令和3年3月8日 内 容:②「後見開始の審判確定～就職時報告までの流れ」  
 講師 ジャスミン権利擁護センター 水戸 由子 氏  
 参加人数:52名
- ⑥市民後見人養成研修…昨年度一時中止となっていた市民後見人養成研修を  
 オンラインリモートで再開しました。(全5回実施)



## ◎令和3年度事業計画

### 1.法人後見受任事業(社協独自事業)

- (1)成年後見人等の受任
  - ①裁判所からの審判に基づき、成年後見人等の受任・履行する。
  - ②対象区域:京極町内のみ受任を原則とする。
- (2)市民後見人、他町法人後見との連携
  - ①複数後見、単独受任、成年後見監督人など、住民のニーズに合わせた業務履行、支援を行う。
- (3)法人後見運営委員会の開催
  - ①成年後見人等候補者記載の適否を決定する。
  - ②成年後見人等就任依頼について受任の適否を決定する。
  - ③法人後見業務履行に関する監査を行う。
 開催頻度:京極町社会福祉協議会の受任可否を検討の際



### 2.日常生活自立支援事業の実施(北海道社会福祉協議会委託事業)

- (1)本人との契約に基づく金銭管理・福祉サービス利用援助を実施する。
  - ①関係機関や住民からの相談の受付、調整する。
- (2)北海道社会福祉協議会との連携
  - ①実績報告、契約締結審査会の活用で連携し、適切なサービス履行を行う。



### 3.京極町生活サポートセンター運営事業(町委託事業)

成年後見制度利用促進基本計画に基づき以下の(1)～(4)

- (1)広報機能
  - ①成年後見制度やその他周辺事業や法制度について住民への普及啓発を行う。
  - ②地域福祉課全体で連携し、適切なアウトリーチに基づいた広報を行う。
- (2)相談機能
  - ①地域住民や羊蹄山ろく関係機関からの権利擁護に関する相談を受付、適切な権利擁護支援を受けられるよう相談支援を行う。
- (3)成年後見制度利用促進機能
  - ①専門職、法人、親族、市民後見人の受任調整を適切に行う。また、家庭裁判所との連携を図りながら、申立から受任調整、成年後見業務履行までの支援を連携して行う。
  - ②市民後見人のフォローアップ研修を開催し、市民後見人の質の維持向上を目指す。
  - ③羊蹄山ろく権利擁護体制運営協議会の開催。
- (4)後見人支援機能
  - ①親族後見人や市民後見人の活動を裁判所と連携しながら支援する。
  - ②後見人等の意思決定支援を促進するために、チームに介入し後見人のバックアップを行う。

### 4.多機関協働による包括的支援体制構築事業

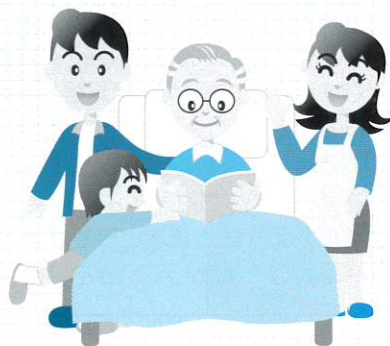
- (1)8050ネットワーク会議の開催
  - ①複合困難世帯に関するネットワーク構築を目指す。
  - ②町内外の支援者の他機関連携による支援事例を共有する。
- (2)おうち会議(重層的支援会議)の開催
  - ①複合困難世帯に関する2次相談を受付、支援チーム形成・支援計画の作成・進捗管理を行う。



# 居宅介護支援事業所

## 【令和2年度 居宅介護支援事業所 報告】

令和2年度もご自宅で生活されている方へのお手伝いとして事業の運営を行っている。年間居宅利用件数は過去2年と比べて低い状況となっており、月別だと45件前後を推移している。終了ケースの内訳としては施設への入所が10件となっており、その内、ショートステイを利用しながら在宅生活を続けた後入所になったケースが5件となっている。また、世帯別割合では同居家族は例年通り多いが、高齢者のみの世帯が昨年までの倍になっており、一人暮らしは減少傾向となっている。年齢別分布では80歳以上の割合が7割となっている。住み慣れた自宅で年齢を重ねても生活したいと希望される反面、在宅生活での限界を感じ施設入所される方も多い1年となった。



## 【令和3年度 居宅介護支援事業所 計画】

1. 在宅生活希望される方の支援の実施
2. 地域包括ケアの更なる充実のために居宅介護支援事業所として各部署と連携を図りながら取り組む
3. 事業所の給付件数を安定させて、安定した経営を行えるようにする



お問い合わせ

京極町社会福祉協議会  
居宅介護支援事業所

☎42-3681 (担当:保村・佐藤)

# 訪問介護事業所

## 令和2年度事業報告

## 【令和2年度利用状況報告】

○訪問介護事業所では、要介護(1~5)28名の方にサービス提供をし、延べ173名利用されました。(新規利用者8名、サービス終了者4名)昨年度は、『新型コロナウイルス緊急事態宣言』に伴って感染拡大防止、緊急性と必要性に考慮した訪問サービスを実施しました。

○サービス内容

サービス内容	年間実人数	サービス延べ回数
身体介護(通院・買い物・銀行等の付き添い・見守り調理)	28名	316回
生活援助(買い物代行・調理・掃除)	4名	106回
通院乗降介助(車の乗り降りが困難な方)	1名	2回

○介護予防・日常生活支援総合事業(要支援1・2)⇒1名、延べ回数41回利用されました。

○障がい福祉サービスの利用実績はありませんでした。



## 令和3年度事業計画

- ①利用者が居宅にて自立した日常生活を営めることができるよう、介護サービスの提供と信頼性の高いサービス提供に努める。
- ②行政・医療機関・各関係機関との連携を強化する。

住み慣れた環境と時間をいつまでも 共有できるように在宅生活をサポートいたします  
【京極町社会福祉協議会 訪問介護事業所】



# デイサービスだより

## 令和2年度事業報告

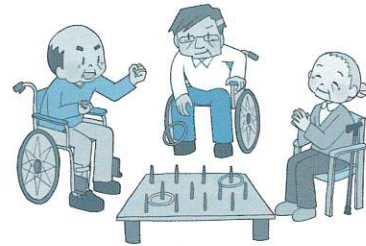
デイサービスの利用登録者は、年々減少傾向にあります。介護予防事業が充実して、要支援の利用者が減少傾向にあります。今後も引き続き利用登録は減少していくことが予想されます。事業対象者、要支援の利用もあり、利用者のニーズに合わせた支援を行う事ができていました。新規利用に関しては様々なケース（家庭環境、病気等）があり、多くの専門的な関係者が関わらなくてはならないケースや、多種多様なニーズが求められ対応してきました。利用者の実績が減少していく中で、可能な限り在宅で生活できるよう支援し自立した生活が送れるよう体制を整え営業してきました。また、予防センターとの連携や協力を得ながら、より充実した通所介護の事業運営を図っていかれました。令和2年度は、コロナウイルス蔓延防止措置として感染対策を徹底し営業してきました。今後も、上手く感染予防しながら色々な活動等を実施していきたいと思っております。

### 令和2年度 延べ人数

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	314	307	336	321	304	315	333	300	316	237	240	337	3660
要介護者	250	269	289	280	263	270	285	259	274	210	216	308	3173
要支援者	55	29	44	38	38	54	44	28	36	24	21	29	440
事業対象者	9	3	3	3	3	1	4	13	6	3	3		51

### 令和2年度新規利用者・終了者

新規利用者		終了者	
項目	人数	項目	人数
要介護者	6名	施設入所	11名
要支援者	0名	死亡	1名
		その他(休止・入院・転居等)	4名
合計	6名	合計	16名



## 令和3年度 事業計画

1. 令和3年7月より、地域密着型デイサービスへ移行
2. 利用者及び家族のニーズに合わせ、利用する目標を設定し、自身でできる事を減らさないためのプログラムを実施する

令和3年7月1日より地域密着型デイサービスセンターになりました。地域密着型に移行することで、小規模定員（定員18名）になり今以上に手厚い支援を提供致したいと思っております。事業変更することにより、ご利用者様、ご家族様へご負担をお掛けする事があると思っておりますが、これからもよろしくお願いいたします。

### 地域密着型 通所介護の利用料金について

介護1	現在 581円	→	令和3年7月より 676円
介護2	現在 686円	→	令和3年7月より 798円
介護3	現在 792円	→	令和3年7月より 922円
介護4	現在 897円	→	令和3年7月より1045円
介護5	現在1003円	→	令和3年7月より1168円





# 京極町介護予防センター

令和2年度事業報告  
令和3年度事業計画

## ① 一般介護予防事業

**つどいの場**：つどいの場サポーターが12名養成され、新たに「三和会」が誕生しました。令和3年6月現在町内に9か所のつどいの場があります(うち4箇所は休止中)。参加延数は新型コロナ感染予防による活動休止期間や、休止中のグループの影響で1/3程度に減少しました(下図参照)。

**シャキッと会**：つどいの場と同様、コロナ感染予防による活動休止期間の影響などで参加延数は減少しました(下図参照)。

\*令和3年度はつどいの場・シャキッと会で健康講話(全12話)を視聴していただく取り組みを進めていきます。

**元気湧く湧くウォークラリー**：コロナ禍でも感染リスクの低い運動機会を創出するために、町内10か所のシールポイントを歩いて回り、シールを集めるウォークラリーを急遽開催しました。8/27～11/30の期間中、59名(男10名/女49名)の参加がありました。大変好評だったため、令和3年度以降も継続して取り組む事業と致しました。

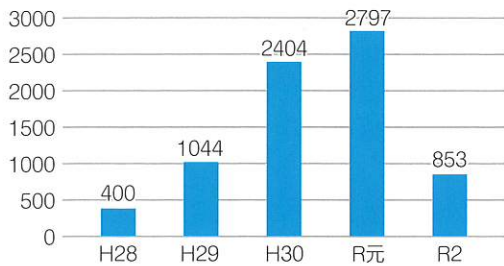


新規つどいの場「三和会」

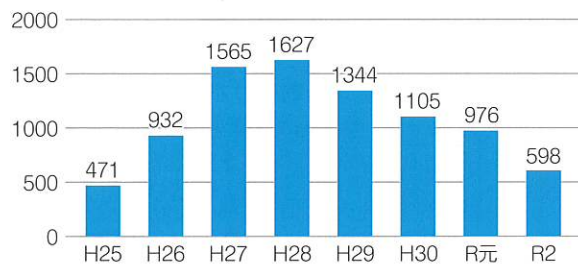


元気湧く湧くウォークラリー

つどいの場参加延数推移



シャキッと会参加延数推移



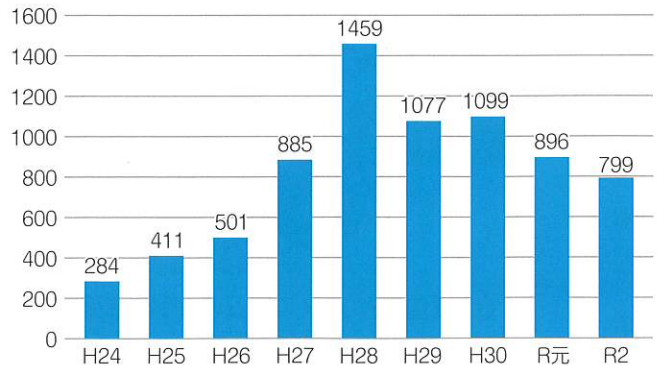
## ② 介護予防通所型サービス事業

### ミニデイサービスにこっと(通年)

参加延数は右のグラフの通りです。コロナの緊急事態宣言による休止期間や、冬季間のみの利用者の増加により、参加延数は減少しました。

令和3年度は10月より65～79歳を対象とした新規事業「にこっと元気アップ教室」が始まります。

通所事業参加延数推移



## ③ 介護予防訪問型サービス事業

**にこっと訪問サービス**：利用者は実人数2名、延人数35名でした。令和3年度から「地域福祉拠点きょう・ここ」での支えあいステーションへ移行したため令和2年度でこの事業は終了となりました。

**にこっと短期集中リハビリ訪問サービス**：実人数1名、延人数12名でした。令和3年度も継続して実施していきます。

## ♪ ラジオ体操実施中! ♪

きょう・ここ  
木曜日10:00～  
四区集会所  
水曜日13:30～

どなたでも参加可能です。  
奮ってご参加ください。





### 《昨年度の主な活動》

#### 1. 高齢者の主な相談状況(相談件数の多い順)

- ①介護保険 ②認知症
- ③虐待関連 ④医療関係

※65歳以上の方の4人に1人の方に対応



#### 2. いきいきシニア訪問

満80歳になった方と同居する高齢者 計35名

※35名のうち2名の方に継続支援

#### 3. 地域ケア会議のとりくみ

①地域ケア個別会議 7回(事例7名)開催

検討した内容: 世帯支援2回・見守り2回・虐待予防1回・精神疾患1回・連携1回

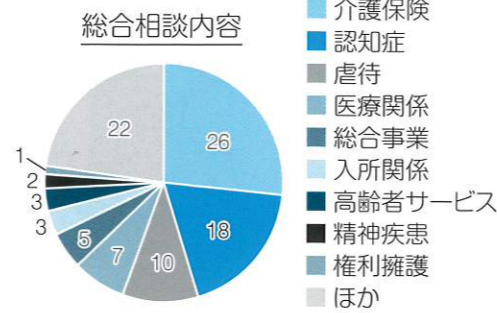
②自立支援型地域ケア個別会議 2回(事例6名)開催

検討した内容: 病気2回・認知症2回・独居1回・障がい1回

助言者として参加した専門職: 看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・主任介護支援専門員・社会福祉士

③地域ケア推進会議 3回開催

検討した地域課題: 支援者は、家族支援という「介護負担の軽減」を目的にしがちである  
・まちの方に介護保険のしくみやケアマネージャーの役割が知られていない  
・見守りや困りごとの相談を身近でできる体制づくりが必要である



#### 4. 認知症の方にやさしいまちづくり

①認知症サポーター養成講座

1回開催25名養成

※認知症サポーターは638名で町民の24.0%に

②あんしんネットワーク

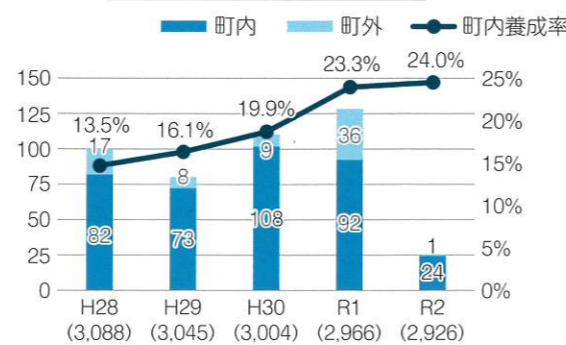
登録者: 在宅3名・施設9名

協力機関: 32機関・個人協力者: 125名

③どんぶりカフェ 9回開催

④認知症ガイドブックの活用推進

認知症サポーター数の推移



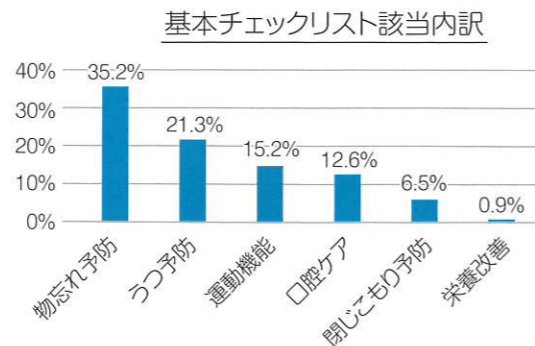
#### 5. 介護予防が必要な高齢者の把握

・65歳以上の方230名(23.3%)に

基本チェックリストを実施

・介護予防が必要と判断された項目(多い順)

- ①物忘れ予防 ②うつ予防 ③運動機能
- ④口腔ケア ⑤閉じこもり予防
- ⑥栄養改善



#### 6. そのほか

・ケアマネージャー業務57名(総合事業利用者38名・要支援で介護サービス利用者19名)

・高齢者虐待対応10件 計37回話し合いを開催

種別(延): 身体的虐待7件・心理的虐待3件・経済的虐待3件・放任1件・非虐待と判断2件

## 京極町地域包括支援センター

令和2年度事業報告  
令和3年度事業計画

### I. 各分野と協働し、地域包括ケアシステムを推進します

#### 1. 医療

- ①医療介護連携の体制整備を行い、高齢者が安心して受けられる医療環境を整えます。
- ②医療機関やかかりつけ医との連携強化に取り組みます。

#### 2. 介護

- ①ケアマネージャーや介護保険事業所に地域包括ケアシステムを意識したケアマネジメントや情報発信を働きかけていきます。
- ②リハビリ訪問や自立支援型地域ケア個別会議を有効に活用し、自立支援を念頭に置いたケアマネジメントやサービス提供に努めます。

#### 3. 介護予防・健康づくり

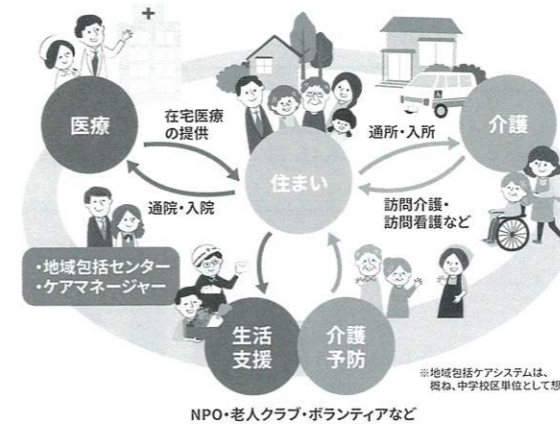
- ①65~79歳までの方全員に基本チェックリストを実施できるように町と共に取り組みます。
- ②65~79歳までの基本チェックリスト該当者に対し、訪問を行い介護予防事業参加の働きかけを行います。
- ③京極町の高齢者の健康課題の把握に努め、訪問活動や通所Cにおいて高齢者に対する健康管理指導を行います。

#### 4. 生活支援・社会参加

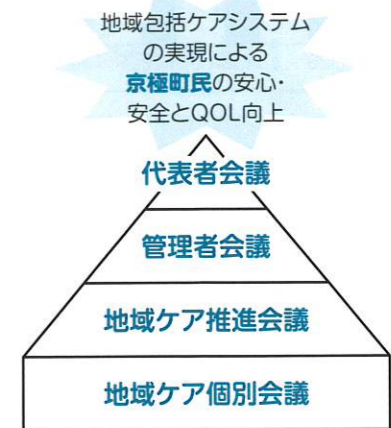
- ①高齢者の生活支援ニーズを積極的に発信し、資源調整や資源開発に結びつけます。
- ②認知症予防に資する社会参加活動を協働で企画・実施します。

#### 5. 住民・住まい

- ①80歳到来者と同居高齢者にいきいきシニア訪問を実施し、顔の見える関係をつくります。
- ②民生委員の高齢者訪問をサポートし、気になる高齢者の対応に関する相談にのります。
- ③権利擁護分野、障害分野、建設課など高齢者の暮らしに関する担当者との関係づくりを行います。
- ④8050問題の解決に向けた支援体制づくりに協力します。



〈地域包括ケアシステムのイメージ図〉



〈地域ケア会議の構造〉

### II. 地域ケア会議から出てきた地域課題の解決に向けた取り組みを推進します

“地域包括ケアシステム”とは、『高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制』のことです。

- ①個別会議、うきさばち会議、推進会議を通じて、地域課題の焦点化と、具現化できる解決策の抽出、管理者会議への提案を行います。
- ②管理者会議、代表者会議において、地域課題解決に向けた取り組みが具体的に進んで行くように事務局としての機能を果たします。
- ③包括独自で取り組める地域課題については研修会の開催や広報等を利用し啓発を図ります。
- ④各分野に地域課題解決に向けた働きかけを行います。



じぶんの町を良くするしくみ。

# 赤い羽根 共同募金



2021年度  
ご当地ピンバッチ  
京極町バージョン

数量  
限定

価格1コ500円

(内300円が募金額となります)

今年も羊蹄山ろく6カ町村でピンバッチのコラボレーション!!



京極



ニセコ



喜茂別



倶知安



留寿都



真狩

それぞれ1個500円で6つ集めると

ようてい  
**YOUTEI** となります。

各町村のご当地ピンバッチも福祉センターにて取り揃えています。

今回は名水プラザ、ヤマトモリ、京極温泉にガチャポンを設置しています。ぜひ募金にご協力ください。  
(ご当地ピンバッチは各町村に募金されます。)



## 令和2年度共同募金運動功績者

### 京極中学校 様

昨年度の募金活動が評価され、北海道共同募金会より表彰されました。

コロナ禍でも感染対策をとって街頭募金活動を行っていただきました。

京極中学校の皆さん、毎年ありがとうございます。



## 寄付・寄贈に 感謝いたします

【期間】3月～5月

### 【寄 贈】

■佐藤 千昭様

### 【寄 付】「福祉基金へ」

- 京極町商工会女性部  
部長 赤間 真知子様より、社会福祉事業資金の一部として
- 長壁 千代子様より、京極町の福祉のために
- 有末 義美様より、京極町の福祉のために
- 板谷 重子様より、京極町の福祉のために
- 千葉 明様より、母の故 千葉 良子様の生前のお礼として
- 柴山 光子様より、京極町の福祉のために
- 長谷川 喜以様より、京極町の福祉のために